

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

〇〇年〇〇月〇〇日

名古屋市長 様

原則として、本社の住所及び代表者の氏名を記入してください。なお、代表者から提出を委任されている場合は、工場長等でも可（委任状添付の必要はありません）。

提出者

住 所 名古屋市中区三の丸〇-〇-〇

氏 名 株式会社〇△◇

代表取締役 〇△ ◇□

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 052-〇〇〇-△△△△

・代理人による申請の場合、申請者と申請代理人を連記してください。
 ・行政書士でない方が、業として他人の依頼を受け報酬を得て、官公署に提出する書類を作成することは、法律に別段の定めがある場合を除き、行政書士法違反となりますので、ご注意ください。

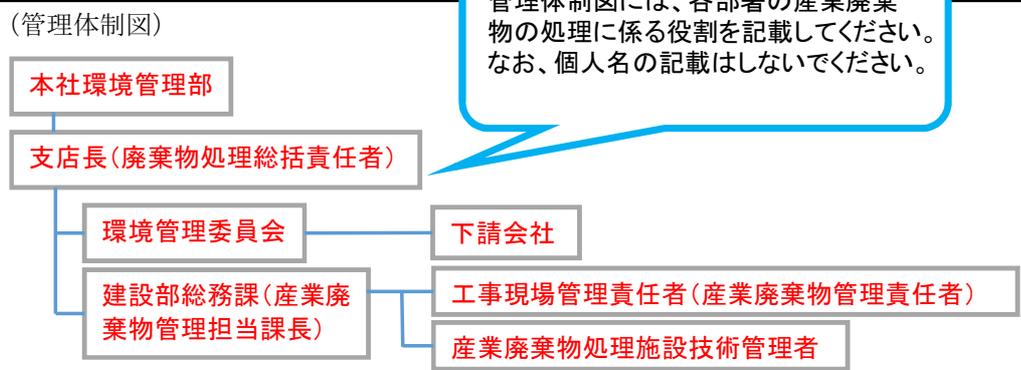
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社〇△◇
事業場の所在地	名古屋市〇〇区〇〇 △△-◇◇-□
計画期間	〇〇年4月1日～〇〇年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	06：総合工事業	日本標準産業分類中分類(コード含む)を記入してください	
② 事業の規模	元請完成工事高：〇〇〇〇〇〇万円	製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入してください。	
③ 従業員数	〇〇〇人		
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	がれき類 →再生処理業者に委託して再生砕石として再資源化 汚泥 →中間処理業者に委託して脱水処理後、埋立処分 廃プラスチック類→再生処理業者に委託してRPF燃料として再資源化 木くず →自社破碎施設にて破碎処理後、チップとして再資源化 混合物 →最終処分業者に委託し、埋立処分 石綿含有産業廃棄物 →最終処分業者に委託し、埋立処分		

当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入してください。なお、当該欄に全てを記入できない場合は「別紙のとおり」と記載して別紙を添付してください。

産業廃棄物処理に係る管理体制に関する事項					
<p>(管理体制図)</p>  <p>管理体制図には、各部署の産業廃棄物の処理に係る役割を記載してください。なお、個人名の記載はしないでください。</p>					
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項					
①現状	<p>【前年度（〇〇年度）実績】</p> <table border="1"><tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td></tr><tr><td>排 出 量</td><td></td></tr></table> <p>(これまでに実施した取組)</p> <ul style="list-style-type: none">・梱包材の簡素化及び再利用化を実施。 <p>枠が不足する場合は、「別紙1のとおり」と記載の上、別紙1を添付する。</p> <p>産業廃棄物の発生抑制に関してこれまで実施してきた取組みを記載してください。</p>	産業廃棄物の種類		排 出 量	
	産業廃棄物の種類				
排 出 量					
②計画	<p>【目標】</p> <table border="1"><tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td></tr><tr><td>排 出 量</td><td></td></tr></table> <p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none">・上記取組みの継続実施。・資材管理の徹底による、余剰材の発生抑制。 <p>枠が不足する場合は、「別紙2のとおり」と記載の上、別紙2を添付する。</p> <p>産業廃棄物の発生抑制に関してこれから取組む計画を記載してください。</p>	産業廃棄物の種類		排 出 量	
産業廃棄物の種類					
排 出 量					
産業廃棄物の分別に関する事項					
①現状	<p>(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p> <ul style="list-style-type: none">・種類ごとに分別し、できる限り混合廃棄物の排出を抑制。・廃棄物の分別について作業員に指導。				
②計画	<p>(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p> <ul style="list-style-type: none">・上記取組みの継続実施。 <p>分別に関する取組み内容及び今後の分別の計画を記載してください。</p>				

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		枠が不足する場合は、「別紙1のとおり」と記載の上、別紙1を添付する。
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量		
	(これまでに実施した取組)		
事業場内で産業廃棄物を再生利用している場合は、その実施状況について記載してください。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		枠が不足する場合は、「別紙2のとおり」と記載の上、別紙2を添付する。
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		
	(今後実施する予定の取組)		
事業場内で産業廃棄物を再生利用する場合は、今後の計画について記載してください。			
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		枠が不足する場合は、「別紙1のとおり」と記載の上、別紙1を添付する。
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量		
(これまでに実施した取組)			
事業場内で産業廃棄物の中間処理を実施している場合は、その中間処理の内容について記載してください。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		枠が不足する場合は、「別紙2のとおり」と記載の上、別紙2を添付する。
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		
(今後実施する予定の取組)			
事業場内で産業廃棄物の中間処理を実施する場合は、今後の計画について記載してください。			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋処分を行った産業廃棄物の量		t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋処分を行う産業廃棄物の量		t
	(今後実施する予定の取組)		

枠が不足する場合は、「別紙1のとおり」と記載の上、別紙1を添付する。

産業廃棄物を処理業者へ委託せず、自ら埋立処分している場合は、その状況について記載してください。

枠が不足する場合は、「別紙2のとおり」と記載の上、別紙2を添付する。

産業廃棄物を処理業者へ委託せず、自ら埋立処分する場合は、今後の計画について記載してください。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（○○年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量		t
	認定熱回収業者への処理委託量		t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組)			
<ul style="list-style-type: none">・優良認定処理業者に委託する。・処理委託業者の施設の現地確認を定期的実施する。			
産業廃棄物の処理委託における適正処理及び再生利用等に関する取組み状況について記載してください。			

(第5面)

②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t
	再生利用業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
※事務処理欄		

枠が不足する場合は、「別紙2のとおり」と記載の上、別紙2を添付する。

(今後実施する予定の取組)

- ・ 前述の取組みの継続実施。
- ・ 再生利用や熱回収が可能な廃棄物については、再生処理業者や熱回収業者へ処理委託する。

産業廃棄物の処理委託における適正処理及び再生利用等の計画について記載してください。

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1

【前年度(〇〇年度)実績】

	廃棄物の種類	がれき類	がれき類	がれき類	汚泥	廃プラスチック	木くず	混合廃棄物			
	名称(任意の名称を記入してください)	アスファルトがら	コンクリートがら	石綿含有がれき	建設汚泥			安定型			
①	排出量(t)	1000	500	50	500	10	30	15			
②	自ら再生利用を行った量(t)	0	0	0	0	0	30	0			
③	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量(t)	0	0	0	0	0	0	0			
⑤	自ら熱回収を行った量(t)	0	0	0	0	0	0	0			
⑦	自らの中間処理による減量(t)	0	0	0	0	0	0	0			
⑩	処理委託した全量(t)	1000	500	50	500	10	0	15			
⑪	優良認定処理業者への処理委託量(t)	1000	0	0	0	10	0	15			
⑫	再生利用業者への処理委託量(t)	1000	500	0	0	10	0	0			
⑬	認定熱回収業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0			
⑭	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0			

産業廃棄物処理計画実施状況報告書の第2面に合わせた番号になっています。

